

H.C.R.2009 国際シンポジウム報告  
ヨーロッパ各国の女性の職域進出と育児環境  
〈目 次〉

1. はじめに
2. ヨーロッパ諸国の出生率と初産年齢の傾向
3. 経済的観点からみる出生率
4. 新しい家族形態と婚外子の増加
5. 出生率の危機的水準と人口ピラミッド
6. 女性の職域進出と出生率
  - ①女性の就業率と出生率
  - ②家庭内における男女の役割分担と出生率
  - ③経済的不安と出生率
7. 子育て家庭への公的支援
  - ①子どもの貧困率と母親の経済活動
  - ②公的保育施設の活用と出生率
8. 家族政策のモデルの分類
  - ①共働きモデル
  - ②一般的な家族支援モデル
  - ③市場主導型モデル
  - ④ラテン系周辺国モデル
9. 子どものいない女性の割合と出生率の危機的水準
10. おわりに

質疑応答

- Q1：ヨーロッパの国々では、子育ての責任が、家族から社会や国へと移っていったのか？
- Q2：ヨーロッパの国々で、それまでとは違う家族モデルに進んだターニングポイントは何か？
- Q3：子どもの貧困率の定義とはどういうものか？
- Q4：ヨーロッパ諸国のあいだで、家族政策に差があるのは、何が影響しているのか？

Q5：ドイツでは、なぜ伝統的な家族モデルを変えるようなことが起きたのか？

Q6：ヨーロッパの国々では、家族支援の制度の充実など新しい政策を採用するとき、どのくらい効果があると見込んでいたのか？

Q7：日本でも共働きモデルの導入が可能だと考えるか？